



2010年05月02日



【先週のメッセージより】 ヨハネ21：15～23

自分の危うさを知りつつ歩む



●ガリラヤ湖の岸辺でイエスはペテロに三度「わたしを愛するか」と質問なされた。三度イエスを否定したペテロとの関係の修復のためであり、ペテロを使徒の立場に戻し、派遣をするためであった。しかし、この出来事を通して、ペテロは自分にとって、最も大切なことを徹底的に教えられたのである。それは「自分」というものの不確かさ、危うさである。

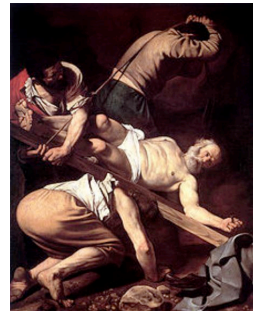
●ペテロは自分の肉の力・・・つまり頑張りで、イエスのために死ぬるとまで言い切ったが、無残な敗北に終わった。神の守りも導きも必要ない、自分の力でできる、と宣言すること自体が高慢の極みであり、この時点ですでに人は最大の罪を犯してしまっている。

●この自己中心な罪の土台に立つ限り、正しい生き方をするには誰にもできないことである。その

ために、いつでも自分は倒れうる弱さを持っていること、自分の心に言い聞かせつつ、

- 1) 人のことは気にせず、イエスから目を放さないようにしよう。
- 2) 自分は助けを必要としているということを認めよう。
- 3) 高慢にならないように気をつけよう。
- 4) 神がこのような私でも愛し、用いて下さろうとしていることを理解し、感謝をささげよう。

●神は私たちが失敗しても驚かれるような方ではない。いやむしろ失敗することを御存知で私たちを選んでおられ、豊かに赦し、何度でもやり直しをさせてくださるお方である。そして、一步一步、キリストの似姿になるように訓練してくださるお方なのである。■



【祈りの姿勢／恥も外聞も捨て、体面も世間体も捨てる】

イエスは祈りについて過激なことを教えておられる。次の三つの聖書箇所を私たちも是非、自分たちの祈りの姿勢としたい。

「あくまで頼み続けた」 (ルカ11：8 夜中にパン三つを借りに行く人)

「小犬でもパンくずをいただきます」 (マタイ15:27 カナン人の女)

「ひっきりなしにやって来て」頼んだ。(ルカ11：8 執拗なやもめ) ■



【靈的戦い／見えざる世界（1）】

- 5月から6月にかけて実践的クリスチャン生活をするために理解し身につけておかなければならない、靈的な戦い、SPIRITUAL WARFARE という事柄について学んで参ります。クリスチャンは好むと好まざるとに関わらず一人残らずこの戦いに入られています。しかもこの戦いは 24/7 = 24時間、週7日、決して絶えることなく、イエスの再臨の時まで続くのです。こう聞くと、信仰など持たなければ

良かったと思うかも知れませんが、御安心ください。主は、従う者たちが圧倒的な勝利になることを約束しておられるからです。

●そこで今回はそもそも何との戦いなのかということについて考えます。よく敵は内外（うちと）にある、と言いますが、この靈的な戦いも内＝自分自身、外＝この世、暗闇の支配者たち＝悪魔とその使いたちの両方に戦線があります。

●先ず、内側の戦いとは何でしょうか。それは私たちの罪深い自己中心な性質との戦いです。

★ローマ7:23

私のからだの中には異なった律法があって、それが私の心の律法に対して戦いをいどみ、私をからだの中にある罪の律法のとりこにしているのを見いだすのです。

★1ペテロ2:11

愛する者たちよ。あなたがたにお勧めします。旅人であり寄留者であるあなたがたは、たましいに戦いをいどむ肉の欲を遠ざけなさい。

●パウロもペテロも救われた人の

中では神を愛し、神に従いたい新生した靈と、神に逆らい、自分中心に行動したい古い肉の性質との間に戦いがあることをはっきり語っています。以前は、身勝手はいけない、と薄々分ってはいても、判断基準はころころ変わり、曖昧であったりして、本当の意味での戦いはなかったのです。

●しかし、一旦、罪を悔い改めて生ける神への従順を決意すると、古い性質が俄然、頑張り始め、内側で激しい戦いが起きるのです。神はあえて、私たちをこの戦いの中に置かれます。それはこの戦いを通してでなければ決して身に付かない性質、しかも人間にとって最も大切な性質を私たちに獲得させたいからです。その性質とは、自己中心の対極・・・喜んで自分を他者に与える「愛」なのです。

【今週の暗唱聖句】 マタイ 28：19-20 大宣教命令

それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。これは弟子とされたクリスチャン、一人一人に与えられている主からの命令です。皆さんを通して弟子となる人たちがどんどん起されますように！ ■